

- ・大学生へのアンケートでは、「エイズ予防ポスター」は6.3%、「エイズのはなし（高校生用）」は6.2%、大阪市ホームページは4.6%が「見たことがある」と回答していた。

【資料 12】

イ 個別施策層向け正しい知識の普及啓発

- ・平成 24 年 11 月に MSM 向け広報紙を発行した。

配付場所：堂山・難波・新世界の商業施設中心

内 容：タブロイド版でデザインを MASH 大阪に委託。定期発行予定。

ウ 福祉施設・介護事業者への正しい知識の普及啓発【資料 11・13・14】

- ・介護保険サービス事業所に対しては、平成 23 年度 13 回 628 人、平成 24 年度 5 回 319 人、障がい児・者福祉施設に対しては、平成 23 年度 1 回 65 人、平成 24 年度 2 回 39 人に健康教育を実施した。

エ 企業向け正しい知識の普及啓発【資料 11】

- ・平成 24 年度に 1 回 25 人、平成 25 年 4～6 月は 1 回 32 人に健康教育を実施した。

オ 他都市等との共同エイズ予防啓発事業

- ・大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市でエイズ予防週間実行委員会を組織し、エイズ予防週間講演会を開催した。

日 時：平成 24 年 11 月 27 日（火）午後 6 時～8 時

場 所：クレオ大阪中央「ホール」

テーマ：同世代に伝えたいメッセージ～HIV/エイズ予防のために～

講 師：大場雄一郎（大阪府立急性期・総合医療センター総合内科診療主任）

森理世（モデル/ダンス アーティスティック・ディレクター

ミスユニバース 2007）

- ・同じく、エイズ予防週間実行委員会として街頭キャンペーンを実施した。

日 程：平成 24 年 6 月上旬、平成 24 年 11 月末、平成 25 年 6 月

場 所：南海なんば駅周辺

内 容：普及啓発グッズの配付（2,000 部）

【評価】

ア 青少年向け正しい知識の普及啓発

- ・青少年に対しては、ポスター作成・冊子配付等新たな取り組みは実施できたが、認知度は低く、今後の推移を見ていく必要がある。
- ・中学生への健康教育は平成 23 年に比較して増えたが、高校生・教職員への健康教育の実績は減少した。学校への直接的な働きかけは平成 25 年度から実施しており、今後、評価する必要がある。

イ 個別施策層向け正しい知識の普及啓発

- ・MSM 向け広報紙を作成した。
- ・正しい知識の普及の効果について、分析中の「検査を受ける人を対象としたアンケート」結果から評価する必要がある。

ウ 福祉施設・介護事業者への正しい知識の普及啓発

- ・平成 23 年度に比べ平成 24 年の健康教育の実績は減少している。

エ 企業向け正しい知識の普及啓発

- ・企業への健康教育は平成 24 年度に開始できたが、受講者数は限られている。

オ 他都市等との共同エイズ予防啓発事業

- ・府及び保健所設置市と協働した事業が実施できた。

【今後の計画】

- ・継続した教育機関、福祉施設、企業等への普及啓発への働きかけ

(2) HIV 検査・相談体制の充実

【実績】

ア 各区保健福祉センターの体制整備

- ・実績については2のとおり
- ・保健福祉センターでの検査時間は平日の9時30分~11時(週11回)・14時~15時30分(週1回)である。
- ・平成25年4月より、第4世代のHIV抗原抗体検査を導入した。
- ・生涯受検経験は3区の平均で51.9%であった。
- ・平成24年8月に検査方法やウインドピリオド等を掲載された資料を作成した。各区の受検前スペースに受検者が自由に閲覧できるように設置している。
- ・厚生労働省科学研究事業の「検査を受ける人を対象としたアンケート」では検査満足度は「話し方・言葉使いにとても満足・やや満足」と回答した人は91.4%であった。

【資料10】

- ・プライバシー保護にととても不満・やや不満と回答した人は6.3%であった。【資料10】
- ・「検査を受ける人を対象としたアンケート」結果では、HIVに関する正しい知識の正答率は「HIV感染の予防はコンドームが極めて有効である」が86.8%と最も高く、「HIV即日検査や郵送検査では感染していなくても陽性(感染している)と結果が出ることもある」が41.3%で最も低かった。【資料10】

イ 委託検査体制の整備

- ・実績については2のとおり
- ・平成25年4月より土曜日の検査に即日検査を導入した。
- ・日曜日(14時~即日検査)の受検者が最も多く、定員の上限に達している。

ウ キャンペーン検査・相談、イベント検査・相談等の実施

- ・淀川区では平成24年11月30日(金)17時30分~19時30分にイベント検査を実施し、42名の受検者があった。
- ・北区では平成25年6月5日・12日・19日・26日(水)14時~15時30分に臨時検査を実施し、4回で20名の受検者があった。

エ 広報等

- ・平成25年6月にHIV検査普及週間に向けたポスターを作成し、掲示した。ポスターには大阪市の検査場所を掲載する他、QRコードを掲載した。
- ・「HIV検査を受検した人へのアンケート」調査では情報収集の方法として、インターネットによるものが59.2%と最も多く、年代層が若くなる程多かった。
- ・平成23年12月~平成24年12月に実施した「検査を受ける人を対象としたアンケート」で検査を受ける前に目にした資材は、HIV検査・相談マップが男性29.6%、女性26.5%、大阪市ホームページが男性18.9%、女性が19.0%の順で高かった。【資料10】

オ 相談【資料16】

- ・保健福祉センターではエイズ相談件数は平成20年以降、毎年減少している。
- ・平成24年度のエイズ専門相談は、定例相談20件、告知時14件、大阪市立医療機関96件であった。